

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価コメント |
|-------------------------------------|------|---|-------|---------|-------------|----------|---|---------------------------------------|
| | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | できている | ほぼできている | できていないことが多い | 全くできていない | | |
| I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | |
| サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている | ○ | | | | 「在宅を美しく広げる」という会社理念がある。 | 異議なく同意します。 |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | |
| 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している | | ○ | | | 定期巡回サービスの特徴については職員内の理解が十分に足りているとは言いがたい。理念は入職時に代表から説明があり、認識していると思われる。 | 当該サービスの特徴について、職員内で十分に認識できるよう努力してください。 |
| | 3 | 運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している | ○ | | | | 看護職員・介護職員向けにそれぞれe-Learningで学べる用意がされており、職員個人が年間研修計画を立てて取り組んでいる。また、外部研修の受講費用の支援もある。 | 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している | ○ | | | | 経年数数の少ない職員に対しては経験のある職員と同行できるようにするなどの配慮をしている。 | 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| | 5 | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている | ○ | | | | 定期的な事業所内カンファレンスの開催やICTツールを用いた情報伝達・共有が行える環境を整えている。 | 引き続きの取り組みをお願いします。 |

| | | | | | | |
|--|----|---|---|--|---|---|
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | |
| 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている | ○ | | | 利用者宅間の移動時間や人材配置の工夫を行っている。 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている | | | ○ | 半年毎に開催が必要であるが、今回は1月遅れての開催となってしまった。今回が初めての開催となるため、要望や助言を柔軟に反映できるように取り組んでいきたい。 |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | |
| 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8 | 利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | | | ○ | LINE Worksを用いて利用者に関する情報の共有を行っているが十分な周知が出来ていないとご利用者様・ご家族より指摘を受けることが時折あるため改善の余地はある。 より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | |
| 職員の安全管理 | 9 | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等) | | | ○ | 交通安全、災害時の対策は行動指針を整備しているが、夜間訪問の防犯対策については今後策を立てていく。 より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| 利用者等に係る安全管理 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている | | | ○ | 適宜フォローアップ研修等を開催している。 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| II 過程評価 (Process) | | | | | | |
| 1 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | |
| 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 11 | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている | ○ | | | 利用者の生活リズムに合わせたサービス提供ができるようにアセスメントをしている。 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| | 12 | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている | ○ | | | 月に1度カンファレンスを開催し共有・突き合わせが出来ている。 引き続きの取り組みをお願いします。 |
| 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 13 | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている | | | ○ | アセスメントシートを用いて心身機能の維持回復を目指した計画立案を心掛けている。 より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |

| | | | | | | | |
|--|----|---|--|---|---|--|--------------------------|
| | 14 | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている | | ○ | | 月に一度アセスメントシートを用いた全身状態の評価を行なっているが、計画への反映が不十分である。 | より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | |
| 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供 | 15 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている。 | | ○ | | 利用者の心身の状態に合わせた訪問調整を随時実施出来ている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている。 | | | ○ | 実際のケアには反映出来ているが、計画の見直しをケアプランの見直しと同時期に設定しているため適宜の反映については不十分である。 | 改善するよう努力してください。 |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | |
| 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている。 | | ○ | | 看護師の多い事業所であるためヘルパーの職務を担うことは多くなっている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている。 | | ○ | | 看護師が訪問することも多いため病状の予後予測を立てたケアを行い介護職へも十分伝達出来ている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |

| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | |
|---|----|--|---|--|--|--|---|
| 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている。 | ○ | | | 契約時に重要事項説明書・契約書を用いて口頭及び書面で案内をしている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | ○ | | | 計画作成時、評価時には利用者・家族へ計画書を用いて説明をした後に承認のサインをもらっている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| | 21 | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | ○ | | | 家族とのLINEチャットや自宅に配置している連絡ノート、電話等を用いて報告・相談が出来る。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | |
| 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | ○ | | | 利用者に変化があったときなどは適時報告・共有を行うことが出来る。 | より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている | ○ | | | 利用者の状態に応じて必要なサービスの提案などを行っている。 | より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている。 | ○ | | | サービス担当者会議には可能な限り出席し利用者の状況の共有などを行うようにしている。 | サービス担当者会議には積極的に参加してもらっている より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |

| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|--|--------------------------|
| 利用者の在宅生活の継続に必要なとる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目) | | | | 必要時は事業所内で検討後、ケアマネなどへの相談も行うが、そういった事例は現在ないため評価不能。 | ————— |
| | 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目) | ○ | | | 入院・入所時には看護サマリーを作成し送付している。退院時には開催される場合には退院カンファレンスに参加し、可能な限り当日から介入が開始できるようにスケジュール調整を行っている。 | 引き続きの取組みをお預めします。 |
| 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目) | | ○ | | 事業所内での検討・共有は出来ている。外部事業所との連携ではケアマネジャーを間に挟むことが多い。ケアマネジャーとの連携は必要に応じて実施出来ている。 | より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている。 | | | ○ | 今回初めての開催となるため、開催終了後は誰でも閲覧可能なように公式HPやInstagramでの発信を検討している。 | 改善するよう努力してください。 |
| | 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている。 | | | ○ | 広報が出来るように取り組んでいるが、結果は開催日まで分からない。 | 改善するよう努力してください。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------------|----|---|---|--|---|---|---|
| (2) まちづくりへの参画 | | | | | | | |
| 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 30 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | | | | ○ 今後、職員全員が理解をし街づくりへ参画できるよう介護保険事業計画書の読み合わせなどを行っていく。 | 改善するよう努力してください。 |
| サービス提供における、地域への展開 | 31 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | ○ | | | サービス提供可能範囲全域に渡って、依頼をお断りしたことはない。 | 断られることなく依頼を受けてもらっている 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32 | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目) | | | ○ | 大和市訪問看護ステーション連絡会等を通じて地域とのネットワークづくりは積極的に行っている。 | より高いレベルで達成できるよう努力してください。 |
| III 結果評価 (Outcome) | | | | | | | |
| サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | | | ○ | ケアプランの目標達成が出来るようサービス計画を立案し、目標達成に向けたケア提供を行っている。 | 引き続きの取組みをお願いします。 |
| 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | | | ○ | 一部、在宅から離れ施設入所になった事例はあったが、概ね当事業所のサービス提供により安心して在宅生活を送ることが出来ているとの声をもらっている。 | 介護と看護がシームレスに連携が取られていて、依頼している利用者さんやその家族も安心感を得られています。 引き続きの取組みをお願いします。 |